

巻頭言

愛知淑徳大学
言語コミュニケーション学会
会長 松本青也

愛知淑徳大学言語コミュニケーション学会は、今年度本学に誕生しました言語コミュニケーション学科と、その母体となった文学部言語文化コース、及び大学院異文化コミュニケーション専攻の在學生と卒業生が會員となる学会です。この度、新学科の誕生と大学院の博士後期課程の完成を機会に、公開の第1回研究大会を2001年1月13日（土）に開催致しました。

当日は学内外から200名を超える参加者が集まり、研究発表も3会場に分かれるなど、盛大で充実した集いとなりました。そこで更に多くの方々に私達の研究成果を知って頂くために、この大会での発表を論集としてまとめることにしました。

経済活動や情報伝達のグローバル化が更に進展する21世紀には、言語や文化が異なる人とのコミュニケーションが益々重要な意味を持てきます。そうした時代の要請に応える優れた人材を育てるために、本学科及び研究科での教育・研究活動をいっそう充実させる運動の一環として、この研究大会が今後も継続し、益々発展していくことを願っています。